

ぱびるす

2015年 **9** 月号

編集／発行 苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRC苫小牧グループ
〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目1番15号 ☎35-0511 Fax 35-0519 ✉info@tomakomai-lib.jp

中央図書館月間カレンダー 9月 【開館時間】 9:30~20:00

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6 ★15:00~15:30 よみきかせ会
7 休館日	8	9	10	11	12 ☆11:00~11:30 よみきかせ会 ◇14:00~14:30 紙芝居	13 ♪10:30~12:00 絵本作家 くすのきしげのりさん 講演会
14 休館日	15	16 ♪10:00~12:00 ICT活用講座 「はじめてのiPad」	17	18 ♪10:30~11:30 赤ちゃんと楽しむ 絵本ひろば	19 ◆14:00~14:30 ストーリーテリング	20 ★15:00~15:30 よみきかせ会
21	22	23	24	25 館内整理休館日	26 ☆11:00~11:30 ☆14:00~14:30 よみきかせ会	27
28 休館日	29	30	★ 苫小牧子どもの本の会 ☆ にじのはし ◆ おはなしオルゴール ◇ 紙芝居おじさん(会場：サンガーデン)			

※上映作品の詳細は4ページ目をご覧ください

【ミニシアターのご案内】 会場：2階講堂 時間：13:30~ 入場無料・申込み不要

9月度の「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」は1日(火)~8日(火)まで募集しています。

梨木香歩さん講演会 - 水辺にて、草木を思う -

10月4日(日)苫小牧市立中央図書館2階講堂にて、
児童文学作家である『梨木香歩』さんをお招きし、講演会を行います。

日時：10月4日(日) 【開場】13時00分 【開演】13時30分
場所：苫小牧市立中央図書館 2階講堂
定員：70名(無料・先着順)
申込：9月1日(火)より受付開始(受付後、整理券発行)



中央図書館カウンターまたはお電話にて受付 ☎0144-35-0511
★当日、作品を購入していただいた方は、サイン会にご参加いただけます★

新刊おすすめ本

『絶対に見られない世界の秘宝99』

【 Templar騎士団の財宝からアマゾンの黄金都市まで 】

ダニエル・スミス／著
小野 智子・片山 美佳子／訳
日経ナショナル・グラフィック社 204 ㇿ

『お宝』と言えば？みなさんはどんなものを想像するでしょうか？金銀財宝や、色とりどりの宝石がたくさん散りばめられた装飾品。はたまた超古代文明のオーパーツなどなど、人それぞれ思い描く物は違うと思います。小さい頃に遊んだおもちゃが、今ではプレミアがついて高価なお宝になってるということもあるでしょう。この本で紹介しているのは、そんなお宝の中でもさまざまな理由で【もう二度と絶対に見られない】世界の秘宝を99個紹介しております。過去に実在していた秘宝もあれば、そもそもそんな秘宝なんて実在していたのか？という眉唾な秘宝まで盛りだくさんです。「草薙剣」「死海文書」「バビロンの空中庭園」「アトランティス」などなど・・・。読んでいっただけで、冒険心をくすぐられちゃいます！個人的なオススメは「シャリユトリューズのレシピ」です。秘薬とも言われるお酒のレシピなんですが、フランスの教会で、限られた数名の修道士にしかレシピが伝わっていない超超超秘伝のレシピなのです！ですが実はこのお酒、酒屋さんやスーパーのお酒コーナーに普通に売っています(緑の瓶が目印)。少しお高いですが(4000円前後)、ぜひとも秘伝の味を試してみてください。※お酒はハタチになってから！

YAおすすめ本

『坊っちゃん』

夏目 漱石／原作 駒井 和緒／文 雪平 うたこ／絵
講談社 913 ㇿ YA

【リライトノベル＝名作古典を大胆にもヤングアダルト(YA)世代向けに書き換え！】

日本人なら誰もが知っているような夏目漱石の著作『坊っちゃん』を大胆にも大きく書き換え！もともと、他の夏目漱石作品と比べて、とても大衆的で読みやすい部類の『坊っちゃん』ですが、YA世代にも親しみやすいように【リライト＝書き換え】され、イマドキの作品へと生まれ変わりました☆「坊っちゃん」が気性が荒く、人情味ある江戸っ子気質であったり、意地悪な教頭やその取り巻きを、なんとかして懲らしめるというストーリーは、ある程度原作になぞってありますが、主人公が「清田」という中等部の小柄なメガネの学生だったり(原作でいうところの坊っちゃんの家の下女の「清」でしょうか?)、山嵐が「嵐先生」という熱血さわやかイケメン教師だったり、猫カフェが出てきたりと作風がガラリと変わっております。はじめての夏目漱石作品として読むもよし。まったく新しい作品として読むもよし。原作と読み比べてみるのもよし。いろいろな読み方ができるマルチな本です！もちろんYA世代だけじゃなく、むかしYA世代だった大人世代にもオススメです。はじめて古典文学に触れてみるいい機会になるかもしれませんね！ちなみに、芥川龍之介の未完の作品『邪宗門(913シYA)』もリライトノベルとして完結(?)しております。ぜひともご一緒に手に取ってしてみてください！

児童おすすめ本

『ふでばこのなかのキルル』

松成 真理子／著 白泉社 E7

雨が降り、晴れたかと思えば雷が鳴り響く。最近落ち着かない天気が続いていますね。十二支で唯一実在せず、雨や雷を操る生き物として有名な存在。なんだか知っていますか？そうです、龍です。昨日ぼくは、引出しの中からヘンな生き物を見つけました。付けた名前はキルル。キルルって鳴くんだよ。おじいちゃんにもらったわらで編んだ古いふでばこを気に入ったみたいで。図鑑で調べると、どうやら龍に似てるんだけど、龍だったら絶対あるはずの「玉」を持っていないんだ・・・。ねえキルル。きみはどこから来たの？なんでここにいるの？ぼくとキルルとおじいちゃんの交流があたたかい。寒くなり始めるこの季節に、ぜひ読んでもらいたい1冊です。

絵本作家「くすのきしげのり」さん講演会

【絵本で伝える子ども気持ち - 作者が語る絵本の世界 - 】

元教師・元図書館員の絵本作家が語る「こどものきもち」。絵本好きの方、子育て中の方、昔子どもだったすべての方に、ぜひ聞いてほしい講演会です。また、中央図書館1階閲覧室にて、作品の展示も合わせて行っております。貸出も可能ですので、ぜひとも足をお運びください。

日時：9月13日(日) 開場10:00 開演10:30
場所：苫小牧市立中央図書館 2階 講堂
定員：70名(先着順 受付後に整理券発行 定員になり次第終了)
中央図書館カウンターまたはお電話にて受付
☎0144-35-0511



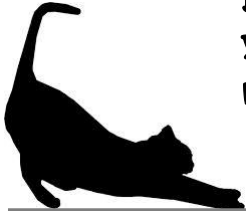
ボランティア養成講座

【中央図書館でボランティアしてみませんか?】

本を棚に戻したり、本の整理をしたり、読み聞かせをしたり……。図書館のお仕事のサポートをして下さる方を募集しています!

日時：10月8日(木) 13:30~15:30
場所：苫小牧市立中央図書館 2階 講堂
持ち物：当日に筆記用具をお持ちください
対象：18歳以上の方
申込：先着順 20名 9月1日~9月30日まで募集

中央図書館カウンターまたはお電話にて受付
☎0144-35-0511



【告知】移動図書館車『とまチョップ号』の巡回場所・時間が変わります!



10月より、移動図書館車とまチョップ号の巡回場所・時間が少し変更になります! 新規の巡回場所も加わる予定です。近日中に巡回日程表を配布しますので、ぜひともご利用ください☆彡

猫田の
つぐやき



にゃあ! ついに猫田、ぱぴるすのYA担当に選ばれたのにゃ! ということで、コラムと共に旬なYA情報をお届けするのになん♪ 右に大きな☆マークの画像をよく見てほしいにゃし。8月から配布してるYA世代向けの情報誌【リトマス】にゃん! 新刊の情報やオススメライトノベル・書籍の紹介もしてるのになん。季節ごとに発行されていて第二号は10月に刊行予定にゃ。もちろん、むかしYAだった世代にもおすすめなのになん☆



展示 みなさんにおすすめしたい本や資料を展示しています

ガラス展示「梨木香歩 -水辺にて、草木を思う-



中央図書館1階ガラス展示では、10月4日(日)に行われる作家『梨木香歩』さんの講演会に合わせまして、梨木さんの作品を展示しております。ガラスケース内の書籍は期間中の貸出をしておりますが、貸出可能な書籍は1階検索機横の棚にて展示しております。講演会の前にぜひとも梨木さんの作品に触れてみてはいかがでしょうか？講演会当日の10月4日(日)まで展示しておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。

新刊棚横展示「脳トレ」



「あれ、いま何をしようとしていたっけ？」と思うことたまにありませんか？なんと、ちゃんと思い出さないと脳が老化するそうです！認知症やアルツハイマー症候群など、脳の疾患が多い現代ですが、ちゃんとトレーニングすれば予防することが可能です！新刊棚横では、脳トレ本の展示を行っております。読んでみてあなたも脳トレにレッツチャレンジ！

児童展示「乗り物大集合！/大人向け絵本」



今回の児童丸テーブルでは、男の子なら誰でも好きな車の本の展示をしますよ～！乗り物大集合！救急車にパトカーにトラック！消防車に飛行機。とっておきの1冊を見つけて下さいね。また、図書館入口入ってすぐの棚では、大人向け絵本の展示を行います。絵本は子どもだけが楽しむ世界？いいえ、違います。何歳になっても、宝物のようなキラキラ輝く絵本がたくさんあります。今だからわかる感情を、穏やかで魅力たっぷりの絵本で、どうぞ堪能してください。

巻末コラム - Le plus important est invisible -

1943年、アメリカでフランスの作家アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリによる作品が出版された。そう、のちに世界中で読まれ、今でもたくさんの人に愛され続けている作品『星の王子さま』である。【児童文学】として読まれているが、冒頭に『おとなは、だれも、はじめは子どもだった。(しかし、そのことを忘れずにいるおとなは、いくらもない。)]』とある。子どもだけではなく、“むかし子どもだった大人”にぜひとも読んでほしい作品である。あらすじは、サハラ砂漠に不時着した飛行士「ぼく」が、“ほんとうの事しか知りたがらない”ふしぎな子どもに出会うところからはじまる。そして、その不思議な子ども『星の王子さま』と話していくにつれて、ほんとうに大事なことはなにかということに気づきはじめる。作中に出てくる言葉に『心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ』というセリフがある。物語の中盤で、小惑星やバラへの愛情に自信がなくなってしまった王子に、キツネが「仲良くなる」ことを通じて、友情や愛情について語り、別れ際に言うセリフである。そのあとの「ぼく」と対話で『砂漠が美しいのは、そのどこかに井戸を隠しているから』とつながっていき、最後の「ぼく」の『夜空が美しいと感じるのは、そのどこかに王子が今もバラと暮らしているから』とつながっていく。全体を通して、目で見えるのではなく、心で感じ取ることが大事であると伝えている。そして【ものごとの本質を見抜く】という、大人がつつい忘れてしまいがちなことを思い出すことによって、なんの変哲もない風景でも、違って見えてくるのではないかと思う。



図書館ミニシアター



9月6日 106分
『幼獣マメシバ』(邦画)

芝二郎35歳。無職。父は他界し母は家出。親戚一同不安に包まれる中、マメシバの子犬がちょこんと現れた。その子犬は母が自分を探させるためによこした子犬だと判明し…。二郎はマメシバを連れて人生初の「旅」に出る。

9月20日 58分
『マメシバ 映画版』(邦画)

37年間無職のアラフォーニートの芝二郎は、相棒のマメシバと引きこもり生活を送っていた。そんな二郎を憂えた叔父は、「二郎のお友達探し」と偽って二郎にお見合いをさせていたが、二郎は相手を怒らせてばかり。

9月13日 23分
『ころわんのおはなし 2』(アニメ)

大人気「ころわん」シリーズです。絵本の世界観そのままのふんわりとしたやさしいタッチで、絵本の読みきかせのように楽しむことが出来ます。「ころわんとしろいくも」「かくれんぼころわん」の2話を収録。

9月27日 92分
『笑う大天使(ミカエル)』(邦画)

突然の母の死で生き別れの大金持ちの兄と再会した司城史緒が、心ならずも転入することになったのは挨拶に礼儀作法、ゆったりゆったりと流れる時間がまるで別世界の超お嬢様学園だった・・・！